

環境学習プログラム学校訪問 記録用紙

訪問月日： 12 月 18 日(水)	訪問校:福井市足羽第一中学校	記録者氏名： 坪内 彰
--------------------	----------------	-------------

※能力・態度、概念の欄には、下記の該当する番号を記入して下さい。

＜能力・態度＞

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

＜概念＞

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な（身につけるべき）能力・態度

＜記入欄＞

	環境の取組	能力・態度	概念
I	ごみの分別やごみ袋の有効活用に努めます ・ 各フロアに燃えるごみと燃えないごみの回収箱を設置し、環境委員会で分別を呼びかけます。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
		所感	
		地味で地道な活動であり、ともすればマンネリ化しやすい取り組みですが、とても基本的な環境活動テーマで重要なことであり、今後とも継続的に取り組んでほしいと思う。	
	環境の取組	能力・態度	概念
II	紙資源のリサイクルに努めます ・ 各教室に古紙回収ボックスを設置し、反古紙として利用することで、紙資源の節約を行います。また、反古紙の有効な活用法を検討します。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
		所感	
		環境委員会（1 年～3 年、各クラス 2 名）の活動を見学した。意外なほど、仕分けの対象物が少なかったことに、貴校でのペーパーレス化の進展・浸透を見て取ることができた。	

	環境の取組	能力・態度	概念	
Ⅲ	文化祭での展示・発表を通して、資源の有限性について理解を深めます ・文化祭での展示・発表を通して、SDGs に関する発信を行い、資源の有効活用への意識を高めます。	③、④、⑤、⑥、⑦	②、③、⑤、⑥	
		所感		
		環境問題は、いずれも個別に起こっているわけではなく、それらが複雑に絡み合っていることを理解してもらううえで、有意義な取り組みだと思う。		
Ⅳ	環境の取組	能力・態度	概念	
		②、③、④、⑤、⑥	②、③、④、⑥	
		所感		
Ⅴ	ESDポイント:Ⅱの活動を通し、身近な様々な資源には限りがあり、長く資源を有効に活用するために大切に利用していくことの重要性を理解する(有限性)。	生徒たちに、われわれが利用している資源の多くは有限であり、その日常の消費行動が環境問題と深くつながっていることを理解してもらうことは、とても重要だと思う。		
		環境の取組	能力・態度	概念
		※この欄は箇条書きでお願いします		
Ⅵ		所感		
		その他の所感		
		まず、貴校のホームページを通じての具体的な情報発信は素晴らしい内容だと思う。 一般論ですが、環境への取り組みにおいて、オリジナリティが最優先することはないと考えており、それぞれの地域や学校に根差した地道な活動こそが、持続可能なものだと思う。 1年生の総合学習のテーマが「WELL-BEING」ということで、その一環として利便性（幸福）とごみの排出、とくにプラスチックごみを取り上げていることは、衣類の洗濯行程などからも排出されるマイクロプラスチック問題を考えるうえでもタイムリーだと思う。 例えば、菓子類（キャンディやおかし、クッキーなど）の個別包装など、メーカー側と消費者のどちらに責任があるのか分からないことを多く、身近な問題ですが、とても難しい課題です。 また、情報を検索するプロセスなどで、先生方のできる範囲で、生徒たちにはネットの利便性だけでなく、ネットリテラシー・メディアリテラシー（情報の玉石混交性、真偽の混在、アルゴリズムの存在など）を理解してもらったうえで、難解な「プラスチックの功罪」というテーマにチャレンジしてくれることを期待しています。		

[訪問の様子]

